

# 第1学年〇組 英語科学習指導案

令和6年〇月〇日(〇)第〇校時

場所 1年〇組教室

指導者 T1

ALT

1 単元名 Let's read The lion and the mouse (Here We Go! 1 光村図書)

## 2 単元について

この単元はイソップ物語の「ライオンとネズミ」を取り扱っており、登場人物のライオンとネズミの会話形式で進む物語である。物語を通じて、協力や思いやりの大切さを理解させるとともに、この単元を通じて、生徒たちがリンキングやリダクション、強調して読む部分とそうでない部分に気をつけながら英文を読む機会を設けることができる。また過去形や look+形容詞など3学期の既習事項に触れて英文を読むことで、学習内容の定着を図ることができる。さらに、単元のゴールで、小学生に読み聞かせをすることにより、相手意識をもって、生徒は物語を読み聞かせるという活動を行う。この活動を通じて、聞き手にどのようにしたら伝わるか、聞き手が聞き取りやすいように英語を発するにはどのようにすればよいかを考えながら活動することが予想され、生徒のコミュニケーションにおける表現力の向上を図ることができる。

## 3 生徒の実態について

(省略)

## 4 単元の目標

- 一般動詞の過去形や look+形容詞の特徴やきまりを理解し、まとまりのある英文の内容を読み取る技能を身に付けている。〈知識及び技能〉
- 物語を読み聞かせするために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、聞き手が聞き取りやすく、物語に夢中になるように読み聞かせしている。〈思考力、判断力、表現力等〉
- 物語を読み聞かせするために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、聞き手が聞き取りやすく、物語に夢中になるように読み聞かせしようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

## 5 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」、「話すこと[やり取り・発表]」、「書くこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	①〈知識〉一般動詞の過去形や look+形容詞の特徴やきまりを理解している。 ②〈技能〉一般動詞の過去形や look+形容詞の意味や働きの理解などを基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。	物語を読み聞かせするために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、聞き手が聞き取りやすく、物語に夢中になるように読み聞かせしている。	物語を読み聞かせするために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、聞き手が聞き取りやすく、物語に夢中になるように読み聞かせしようとしている。

## 6 単元の指導計画と評価の計画(5時間扱い)

	●ねらい ○活動	評価		
		知技	思判表	態
1	●単元の目標を理解し、物語の概要を理解することができる。			◎評価規準〈評価方法〉

	○単元目標（ゴール）を確認する。 ○4つのキーワードから物語を予想する。 ○物語を読み、概要を捉え、イラストカードを正しく並べる。 ○読み聞かせを行い、タブレットで記録する。				
2	●発音やリンキングなどを意識して、物語を音読することができる。				
	○デジタル教科書を活用した音読練習を行い、発音やリンキングを理解する。				
3 本 時	●登場人物になりきり、物語の様子が伝わるように音読することができる。				
	○デジタル教科書を活用し、登場人物になりきり、音読練習をする。				
4	●相手意識をもって、物語の読み聞かせをすることができる。				
	○聞き手に配慮しながら、読み聞かせを行う方法について考え、読み聞かせ練習を行う。			読	◎物語を読み聞かせするために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、聞き手が聞き取りやすく、物語に夢中になるように読み聞かせしようとしている。〈観察〉
5	●小学生が聞きやすいように、物語の読み聞かせをすることができる。				
	○グループ内で読み聞かせを行う。 ○それぞれのグループから選ばれた代表者の読み聞かせを聞き、自身の読み聞かせを振り返る。	読	読	読	◎一般動詞の過去形や look+形容詞の特徴やきまりを理解している。 ◎一般動詞の過去形や look+形容詞の意味や働きの理解などを基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 ◎物語を読み聞かせするために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、聞き手が聞き取りやすく、物語に夢中になるように読み聞かせすることができる。 ◎物語を読み聞かせするために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、聞き手が聞き取りやすく、物語に夢中になるように読み聞かせしようとしている。 〈タブレットで発表を記録し、活動の様子を評価する。〉 〈振り返りシートの自己評価欄で生徒の自己評価を見取る。〉

## 7 本時の展開

目標 登場人物になりきり、物語の様子が伝わるように音読することができる。

準備 デジタル教科書、振り返りシート

	○学習活動・学習内容	指導上の留意点 ◎評価〈方法〉
導	○あいさつ	・学習への雰囲気をつくる。

<p>入</p>	<p>○Small Talk ・「昨日したことについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでテーマについて会話をする。</li> <li>・1分間で話題に沿った会話を行う。</li> <li>・1分経ったら、ペアを入れ替え3回会話を行う。</li> </ul> <p>◇ペアでやりとり(1回目)</p> <p>会話例</p> <p>A: What did you do yesterday?  B: I studied English. ....  How about you?  A: I went to juku. ....  B: Where is your juku?  A: In Honjo. ....</p> <p>◇ペアでやりとり(2回目)</p> <p>会話例</p> <p>A: What did you do yesterday?  B: I studied English. It was difficult.  How about you?  A: I went to juku. It was hard.  B: Where is your juku?  A: In Honjo. Do you go to juku?  .....</p> <p>◇ペアでやりとり(3回目)</p> <p>◇Small Talk 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTと最初にデモストレーションの会話を行う。</li> <li>・ペアで話した内容を全体でシェアし、更に話題を深めていく。</li> </ul> <p>・机間指導を行い、一文で終わらず、追加文を入れているか見取る。  (中間指導1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が複数の生徒と会話し、内容を深める。昨日したことについての感想や会話が継続する質問を行っていた生徒を指名する。それぞれの生徒が昨日したことを板書する。</li> <li>・追加文で感想や質問を入れて会話することを意識させる。</li> </ul> <p>・机間指導を行い、小学校で既習した「4つのたいせつ」の中の「Clear Voice, Response」を意識させる。  (中間指導2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士の会話を全体でシェアする。</li> <li>・聞いている生徒に「Clear Voice, Response」が実践できていることに気付かせる。</li> </ul> <p>・机間指導を行い、「Clear Voice, Response」を意識して会話しようとしているか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目と3回目を比べての変容や英語で表現したかったけれど、できなかったことを振り返らせる。</li> </ul>
<p>展 開</p>	<p>○本時の目標を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>Today's goal: 登場人物になりきり、物語の様子が伝わるように音読しよう。</p> </div> <p>○デジタル教科書を活用して音読練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音やリンキングを意識して音読する。</li> </ul> <p>○教科書の登場人物になりきってペアで読み聞かせする。(1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の特徴をつかみ、物語の様子を伝えるためにはどうしたらよいか考えて読む。</li> </ul>	<p>本時の目標を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導を行い、読みにくい単語や文が読めているか確認する。</li> <li>・全体で練習が必要な語句や文を見取る。</li> </ul> <p>・タブレットで読み聞かせの様子を記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板をつかって生徒から出た登場人物の特徴をまとめる。</li> </ul> <p>(中間指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の話し方等の特徴を確認し、全体で</li> </ul>

	<p>○デジタル教科書を活用して音読練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の特徴をつかみ、物語の様子を伝えるためにはどうしたらよいか考えて読む。</li> </ul> <p>○教科書の登場人物になりきってペアで読み聞かせする。(2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の特徴をつかみ、物語の様子を伝えるためにはどうしたらよいか考えて読む。</li> </ul> <p>○1回目と2回目の動画を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を達成することができているか自己評価を行う。</li> </ul>	<p>共有する。mouse、lion、narratorそれぞれの話し方や強弱部分を工夫することで、物語の様子が伝わりやすくなることなどに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体共有後、個人で音読練習に取り組ませる。</li> <li>・タブレットで読み聞かせの様子を再度記録する。</li> <li>・1回目と2回目の録画を比べ、できるようになったことを確認する時間を設ける。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のまとめ</li> <li>○本時の振り返り</li> <li>○次回の予告</li> <li>○あいさつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の取り組みについてできていること、改善すべきことを全体で確認しまとめとする。</li> <li>・本時の取り組みの様子を振り返らせる。</li> <li>・本時の振り返りを個人の次時の課題につなげるよう促す。</li> </ul>

Today's goal: 登場人物になりきり、物語の様子が伝わるように音読しよう。

- ・ あいさつ
- ・ Small Talk
- ・ Reading Practice
- ・ Summary

Small Talk Memo

Where did you?

What ○○ did you?

スクリーン